

プログラム 2 日目 1 月 31 日 (金)

パネルディスカッション 5

9:00~10:30

第 1 会場 (国際センター会議棟 2 階 大ホール)

「救急現場におけるDNARへの対応」 ～救急現場での生命倫理と医療倫理を考察する～

座長 行岡 哲男 一般財団法人日本救急医療財団
アドバイザー 田邊 晴山 救急救命東京研修所
小谷 聡司 総務省消防庁

PD5-1 超高齢社会における救急業務のあり方

横浜市消防局 原 正利

PD5-2 心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

東京消防庁 鈴木 翔平

PD5-3 「救急隊がDNAR情報で戸惑わないようにするために」 ～地域MC協議会の取り組み～

日本海総合病院 緑川 新一

PD5-4 救急現場におけるDNARにおける傷病者の意思と家族の意向～消防庁報告書の要点と課題～

東北大学大学院法学研究科 久保野恵美子

PD5-5 在宅医療における意思決定支援とDNAR対応

医療法人社団悠翔会 佐々木 淳

シンポジウム 8

10:40~12:10

第 1 会場 (国際センター会議棟 2 階 大ホール)

「多数傷病者発生事象における対応」 ～多数傷病者発生時の活動を考察する～

座長 家田 昌利 横浜市消防局
アドバイザー 山口 芳裕 杏林大学
野村 広樹 相模原市消防局

SY8-1 札幌市におけるガス爆発火災による多数傷病者発生時の対応

札幌市消防局 今川 秀樹

SY8-2 工事中の建物火災により多数傷病者が発生した症例

東京消防庁 及川 健二

SY8-3 多数傷病者発生事象の対応と神戸市消防局の体制について

神戸市消防局 川上喜太郎

SY8-4 京都アニメーション火災における集団救急への対応について

京都市消防局 西川 裕之

SY8-5 多数の傷病者が発生した刺傷事件における対応について

川崎市消防局 白井 泰延

教育講演 3

9:00～10:30

第2会場 (国際センター会議棟 2階 橘)

「実効性のある救急隊の感染防止対策について」 ～国際的イベント開催に備える～

司会 豊岡 正則 新潟市消防局

EL3 『救急隊の感染防止対策マニュアル』を実践するにあたってのポイント

堺市立総合医療センター 森田 正則

総合討論

10:40～12:10

第2会場 (国際センター会議棟 2階 橘)

「救急救命の新たなステージに向かって」 ～新時代に求められる救急とは～

座長 久志本成樹 東北大学
内田 元高 東京消防庁
アドバイザー 有賀 徹 労働者健康安全機構
嶋津 岳士 一般社団法人日本救急医学会

D1-1 救急救命士制度の変遷及び新たなステージに向けて

仙台市消防局 荒井 勲

D1-2 救急振興財団で行われる生涯学習について

救急救命東京研修所 尾方 純一

D1-3 救急救命士と救急医療体制に求められるもの

堺市消防局 服部 良一

D1-4 地域包括ケア社会における、緊急走行しない緩やかな救急搬送システムについて

北九州市立八幡病院 伊藤 重彦

D1-5 救急の現在と未来を見据えて

総務省消防庁 村上 浩世

パネルディスカッション 6

9:00～10:30

第3会場 (国際センター会議棟 2階 萩)

「緊急走行時の安全対策について」 ～迅速かつ安全な傷病者搬送を目指して～

座長 間宮雄二郎 川崎市消防局
アドバイザー 久保田勝明 総務省消防庁消防研究センター
滝口 禎雅 自動車安全運転センター安全運転中央研修所

PD6-1 『緊急車両存在情報』を活用した予防安全装備の救急車への搭載効果

特定非営利活動法人 ITS Japan 協調型 ITS 委員会 実用化・普及促進分科会 次世代救急車対応検討タスクフォース
菅沼 英明

PD6-2 北九州市消防局における救急車の事故防止対策

北九州市消防局 山崎 裕介

PD6-3 広島市における緊急走行時の安全対策の取組について

広島市消防局 上落 孝文

PD6-4 組織主導による安全対策へようこそ

名古屋市消防局 渡辺 晋也

PD6-5 緊急自動車の交通事故防止

宮城県警察本部 安部 俊広

パネルディスカッション7

10:40~12:10

第3会場 (国際センター会議棟2階 萩)

「大規模イベントに向けた救急対応」 ~2020年 東京オリンピック・パラリンピックに向けて~

座長 鮫島 秀司 千葉市消防局
アドバイザー 森村 尚登 東京大学
阿南 英明 藤沢市民病院

PD7-1 2020東京オリンピック・パラリンピックにむけてのファーストレスポonder育成と課題

国士舘大学大学院救急システム研究科 田中 秀治

PD7-2 東京2020大会における救急活動体制の確保

東京消防庁 瀧澤 秀行

PD7-3 大規模イベント開催時における横浜市消防局の救急体制

横浜市消防局 藤田 豊

PD7-4 G20大阪サミットにおける救急対応

大阪市消防局 武本 洋典

PD7-5 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた横浜市における医療救護体制

横浜市立市民病院 救命救急センター 伊巻 尚平

一般発表 19

9:00~10:30

第4会場 (国際センター会議場3階 白檀)

テロ災害・大規模災害・多数傷病者2

座長 米澤 尚哉 栗原市消防本部
助言者 山内 聡 大崎市民病院
白石 能章 岡山市消防局

O19-1 通信不感地帯で発生し、応急救護所を約7km離れたRPに設定した多数傷病者事案

富岡甘楽広域消防本部 新井 章彦

O19-2 災害拠点病院との合同訓練及びリエゾンの派遣を活用した多数傷病者事案

塩谷広域行政組合消防本部 本橋 孝徳

O19-3 災害拠点病院災害対策本部に消防リエゾン（連絡調整員）を派遣する有用性

由利本荘市消防本部 小沼 英樹

O19-4 小学校で発生した多数傷病者事案を経験して

豊橋市消防本部 辻田 竜也

019-5 止血処置の新たなステージ～地域MCと救急隊、救助隊で取り組む訓練報告～

岡山市消防局 濱 公二

019-6 ターニケットをいつ使うのか

神戸市消防局 増田 隆志

019-7 止血帯〔ターニケット〕を使用し有効性を実感した3症例

男鹿地区消防一部事務組合消防本部 戸嶋 一也

一般発表 24

10:40～12:10

第4会場（国際センター会議場3階 白檀）

救急需要対策

座長 佐藤 良和 秋田県総務部総合防災課
助言者 中永士師明 秋田大学
沼沢 猛 鶴岡市消防本部

024-1 救急需要増を背景とした組織改正に対応した現場活動標準化の取り組み

名古屋市消防局 林 良成

024-2 東京消防庁町田消防署における救急隊の機動的な運用の試行について

東京消防庁 藤本 行和

024-3 救急救命士有資格者の再任用職員を活用した転院搬送隊の運用について

姫路市消防局 山本 拓馬

024-4 プレホスピタルにおける現場滞在時間遅延の影響と現状

埼玉県央広域消防本部 山田 光隆

024-5 所属の教育と集合教育による年間を通じた現場滞在時間短縮の取り組みについて

東近江行政組合消防本部 西川 義起

024-6 高齢者福祉施設との連携が救急需要対策に繋がった一例～合同救急訓練の取り組み～

北はりま消防本部 杉本 健太

024-7 救急車の適正利用とは？

岡山市消防局 藤澤 紀典

一般発表 20

9:00～10:30

第5会場（仙台国際センター展示棟 会議室3）

関係機関との連携2（福祉・行政等）

座長 和野 康宏 石巻地区広域行政事務組合消防本部
助言者 櫻井 睦美 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
工藤 誠史 中部上北広域事業組合消防本部

020-1 ロード&ゴー事案での警察機関との取り決めと、市内全警察署へ情報共有の実施について

名古屋市消防局 高橋 和希

020-2 警察官を対象としたJPTECファーストレスポnderコースを開催して

安来市消防本部 木村 泰祐

O20-3 養護教諭を対象としたJPTEC FRCの効果と重要性

揖斐郡消防組合消防本部 林 利希也

O20-4 児童虐待が疑われる救急事案での対応について

京都市消防局 小堀太香揮

O20-5 いのちを救う「救急対応マニュアル」【福祉施設・医療機関との地域連携事業】

松山市消防局 石田 和司

O20-6 高崎市救急医療体制緊急改善プランの検証～行政と連携した救急医療体制を目指して～

高崎市等広域消防局 田中 博之

O20-7 山岳救助事案において他機関と連携し早期医療搬送したが課題が残った症例

小田原市消防本部 金城万里奈

一般発表 25

10:40～12:10

第5会場（仙台国際センター展示棟 会議室3）

救急活動6（処置範囲拡大）

座長 三浦 学 男鹿地区消防第一部事務組合消防本部
助言者 小池 俊明 高崎総合医療センター
小川 博 長岡市消防本部

O25-1 救急救命士が実施する救急救命処置の拡大による救急活動の変化について

盛岡地区広域消防組合消防本部 伊藤美友紀

O25-2 七尾鹿島消防本部の拡大2処置に対する積極的取り組みと評価

七尾鹿島消防本部 川上 祥

O25-3 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液におけるアセスメントの傾向

佐賀広域消防局 今村 裕輔

O25-4 石川県における静脈路確保、アドレナリン投与の質の向上

石川県メディカルコントロール協議会 高崎 政志

O25-5 山形市消防本部における静脈路確保の手技による成功率の変化について

山形市消防本部 加藤 祐太

O25-6 病院前救護における血圧上昇時の血糖測定についての検討

福井市消防局 今岡 大輔

O25-7 ブドウ糖投与の開始から見えて来たこと。～改善率から見た今後の課題～

かすみがうら市消防本部 田中 千春

一般発表 21

9:00~10:30

第6会場（仙台国際センター展示棟 会議室4）

調査・研究4

座長 平井 歩 弘前地区地域消防事務組合消防本部
助言者 花田 裕之 弘前大学病院
北岡 和高 松山市消防局

021-1 救急業務のさらなる高度化と救急救命士の確保の必要性

姫路市消防局 岡部 康貴

021-2 宮城県大崎地域における病院前12誘導心電図伝送の有用性について

大崎地域広域行政事務組合消防本部 富田 幸史

021-3 当局における心肺停止事案の今後の課題 ～1年間の心肺停止事案を見直して～

奈良市消防局 永島 凌太

021-4 救急現場における印象評価の導入について

天津市消防局 中下 真道

021-5 豊橋市における急性冠症候群（ACS）トリアージ精度向上のための取り組み

豊橋市消防本部 波佐間宏和

021-6 トリアージが抱える法的問題

堺市消防局 中西 祐太

021-7 やはり思い込みはしてはいけないと感じた症例

横浜市消防局 吉村 友一

一般発表 26

10:40~12:10

第6会場（仙台国際センター展示棟 会議室4）

救急資器材・ICT

座長 川島 浩昭 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部
助言者 川上 一岳 新潟医療福祉大学
奈良 一成 大館市消防本部

026-1 体温低下に対する保温及び体温変化についての実験的考察

横浜市消防局 成田 寛之

026-2 「ストレッチャーマット」の改良について

福山地区消防組合消防局 中元 康博

026-3 肋骨・胸骨骨折を予防する改良型簡易蘇生ボードの開発

名取市消防本部 鈴木 春樹

026-4 傷病者の管理を容易にするためのトリアージシートへの工夫について

川崎市消防局 高橋 憲一

026-5 大学と共同研究！～姫路市発、安全・安楽・安心な救急車用枕の開発～

姫路市消防局 田中 敏昌

026-6 キーワード方式を用いた12誘導心電図伝送システム運用の検討

久慈広域連合消防本部 瀧澤 一史

026-7 自動心肺蘇生器の導入～そこから見えてきたもの～

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 石山 敏樹

一般発表 22

9:00～10:30

第7会場（仙台国際センター展示棟 会議室1）

通信指令・応急手当・バイスタンダー

座長 千葉 一弘 一関市消防本部
助言者 實金 健 岡山赤十字病院
丸山 修 熊本市消防局

022-1 指令管制員による口頭指導の現況によるバイスタンダーCPRの現状及び課題

さいたま市消防局 木下 顕啓

022-2 複数のバイスタンダーをチーム化する口頭指導 ～胸骨圧迫の質向上への試み～

能美市消防本部 谷川 昌弘

022-3 バイスタンダーの背景がバイスタンダーCPRに与える影響の検討

白山野々市広域消防本部 澤田 淳

022-4 2町に広がるファーストレスポonderシステムの実状と今後の展望

高幡消防組合消防本部 保川 仁志

022-5 介護施設における応急手当普及推進活動について

愛川町消防本部 広川 哲

022-6 応急手当への不安と救命入門コース後の救助意欲の変化：講習のあり方に関する検討

小牧市消防本部 田島 典夫

022-7 脳卒中における発症から通報までの所要時間の検討～通報までの時間短縮にむけて～

石岡市消防本部 細井 涼司

一般発表 27

10:40～12:10

第7会場（仙台国際センター展示棟 会議室1）

救急活動4（外因性2）

座長 小川 樹貴 能代山本広域市町村圏組合消防本部
助言者 藤田 康雄 秋田赤十字病院
青木 裕司 大崎地域広域行政事務組合消防本部

027-1 骨盤骨折を見落としした事案から得た課題について

尾道市消防局 松谷 大介

027-2 骨盤骨折と診断された事例の考察

奈良県広域消防組合消防本部 田中 万之

027-3 早期運用により出場したDMATと連携し、多発外傷による重症傷病者を救命した症例

東京消防庁 伊藤 正一

O27-4 ChemicalBurnで救急隊がとるべき行動について

神戸市消防局 佐々木 剛

O27-5 気管挿管成否判断に苦慮した溺水CPA症例

下北地域広域行政事務組合消防本部 澤田 直人

O27-6 状況評価の大切さを再認識させられたCPA事案について

彦根市消防本部 左近上 卓

O27-7 異常気象時の重症と思われた雷撃症傷病者が予後良好であった症例

岐阜市消防本部 勝村 雄介

一般発表 23

9:00～10:30

第8会場（仙台国際センター展示棟 会議室2）

救急活動5（周産期・小児）

座長 佐藤 康平 札幌市消防局
助言者 坂東 敬介 市立札幌病院
高橋 伸一 秋田市消防本部

O23-1 茨城県北地域における妊産婦搬送の現状と課題～自宅分娩症例からの考察～

日立市消防本部 相田 裕二

O23-2 お母さんと赤ちゃんのために～沖縄県中部地区MC協議会の周産期救急活動検証の取り組み～

比謝川行政事務組合ニライ消防本部 安里由美子

O23-3 周産期特命救急隊の創設について～周産期における救急対応力の強化をめざして～

草加八潮消防局 上田 巧

O23-4 救急隊員に対する周産期救急教育の有用性

埼玉西部消防局 小山 桃子

O23-5 成田市消防本部における新生児蘇生法講習会の普及事業について

成田市消防本部 高田 仁

O23-6 学校のアレルギー疾患に関する取り組みガイドラインに基づきエピペンが投与された症例

峡南広域行政組合消防本部 内藤 太一

O23-7 医療的ケア児と家族との関わりから見えてきた課題と提案

かすみがうら市消防本部 嶋田 勇一

一般発表 28

10:40～12:10

第 8 会場（仙台国際センター展示棟 会議室 2）

搬送困難症例・連携

座長 猪俣 浩之 上越地域消防事務組合消防本部
助言者 宮島 衛 長岡赤十字病院
工藤 正行 郡山地方広域消防組合消防本部

028-1 奈良県下37市町村における精神科救急の現状と対策の検討

奈良県広域消防組合消防本部 柴田 広文

028-2 精神科救急事案における直列型搬送の事例分析～成功へのポイントと今後の課題～

有明広域行政事務組合消防本部 濱田 拓也

028-3 精神疾患既往の頻回要請者への対策について

東京消防庁 山岡 政明

028-4 「頻回利用者」対策に関する事務処理マニュアルの作成について

神戸市消防局 梅木 裕史

028-5 保健所と連携した自殺未遂者相談支援事業（ある奏功事例から）

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 奥山 智隆

028-6 聴覚障害を有する傷病者に対し手話通訳者と連携した症例

川崎市消防局 井坂 好希

028-7 大阪の繁華街（キタ・ミナミ）における飲酒事案の現状と課題について

大阪市消防局 箱部 雄太

スキルトレーニング 6

9:00～10:30

第 9 会場（国際センター会議棟 2 階 小会議室 5）

「活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング」 ～活動時間の短縮を目指して～

講師 小林 正和 東北大学病院高度救命救急センター
佐藤 哲哉 みやぎ県南中核病院
横川 裕大 石巻赤十字病院救急科
司会 荒田悠太郎 東北大学
指導者 今井 浩之 東北大学
須藤 剛志 東北大学病院

ST6-1 活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング

～救急活動時間の短縮を目指して～

東北大学病院高度救命救急センター 小林 正和

ST6-2 活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング

みやぎ県南中核病院 佐藤 哲哉
石巻赤十字病院救急科 横川 裕大

スキルトレーニング7

10:40~12:10

第9会場（国際センター会議棟2階 小会議室5）

「活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング」 ～活動時間の短縮を目指して～

講師	小林 正和	東北大学病院高度救命救急センター
	佐藤 哲哉	みやぎ県南中核病院
	横川 裕大	石巻赤十字病院救急科
司会	荒田悠太郎	東北大学
指導者	今井 浩之	東北大学
	須藤 剛志	東北大学病院

ST7-1 活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング ～救急活動時間の短縮を目指して～

東北大学病院高度救命救急センター 小林 正和

ST7-2 活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング

みやぎ県南中核病院 佐藤 哲哉
石巻赤十字病院救急科 横川 裕大

市民公開講座

9:30~12:10

第10会場（国際センター会議棟2階 桜）

「地域の安全をみんなで守る」 ～ともに助け合う社会へ向けて～

司会	佐々木隆広	仙台市消防局
講師	佐藤 健	東北大学災害科学国際研究所
	遠藤 智之	東北医科薬科大学病院救急科
指導者	仙台市消防局 応急手当指導員	
	仙台市防災安全協会 応急手当指導員	
	東北福祉大学学生（救急救命士課程）協力	

PL-1 地域防災リーダーとして求められるものとは

東北大学災害科学国際研究所 佐藤 健

PL-2 命を守る応急手当

東北医科薬科大学病院救急科 遠藤 智之